



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

世界へのプレゼントになろう

「世界へのプレゼントになろう」 *Be a gift to the world*

2015-16年度 RI会長/K.R.“ラビ”ラビンドラン RI.D2590ガバナー/箕田 敏彦 横浜旭RC会長/新川 尚

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2 後藤ビル2F

TEL.045-365-3273

FAX.045-365-3132

Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

〒241-0821

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン

例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



2016年3月16日 第2236回例会 VOL. 47 No. 34

■司 会 副SAA 齋藤 善孝

■開会点鐘 会 長 新川 尚

■斉 唱 手に手つないで

S L 北澤 正浩

■出席報告

会 員 数	32名	本日の出席数	24名
本日の出席率	96%	修正出席率	92%

■本日の欠席者

松本

■ゲスト

古瀬 円様

(相鉄(株)常務取締役プロジェクト推進部長)

長島 弘和様

(相鉄ホールディング(株)経営戦略室ブランド戦略担当部長)

山西 敦也様

(相鉄(株)プロジェクト推進部計画課長)

鈴木 昭彦様

(相鉄ホールディング(株)経営戦略室ブランド戦略担当課長)

清水 正勝様

(相鉄(株)プロジェクト推進部計画課係長)

兵藤 哲夫様 (兵藤動物病院院長)

■会長報告

皆様こんにちは、今年には寒暖の差が激しいと思っていたら、先週の8日(火)まで6日連続で最高気温が15度以上で、3月上旬までに6日も連続したのは50年ぶりのことでした。9日(水)からは日照時間が2時間未満で、10日(木)

からは最高気温が10度未満の日が5日間続きました。これは1984年以来、32年ぶりとのこと。これから寒さは緩むようですが、体調には気をつけて頂きたいと思います。

本日は体験例会ですが、お客様をお招きすることが出来ず申し訳ございません。会長である私の不徳の致すところでございます。開催時期や、卓話の内容をさらに吟味し、事前の広報活動をもっとするべきでした。大いに反省するところです。今回は卓話者に相模鉄道(株)常務取締役の古瀬氏、相鉄ホールディング(株)の長島氏をお願いしております。我々の生活に密着している相鉄線の今後についてお話しいただきます。非常に興味深い内容で、関心の高いお話だと思います。それだけに今回は残念でなりません。再度、体験例会の企画を検討したいと思います。

■次年度幹事より

北澤 正浩

次年度理事会開催のお知らせ

日時 3月23日(水)午後6時30分～

場所 クラブ事務所

次年度理事、役員の方は出席をお願い致します。

■ニコニコBOX(会員敬称略)

新川 尚/相模鉄道(株)古瀬様、山西様、清水様、相鉄ホールディング(株)長島様、鈴木様、卓話宜しく申し上げます。

市川 慎二/①古瀬様、長島様、山西様、鈴

木様、清水様、本日はお忙しい中、お越し頂きありがとうございます。卓話宜しく願い致します。②兵藤先生、お久しぶりです。お待ちしております。

倉本 宏昭／①相鉄ホールディング及び相模鉄道の皆様、本日はご無理なことをお願いしました。よろしく願いします。楽しみにしております。②兵藤先輩ようこそ。

吉原 則光／相鉄の古瀬様、長島様、ご多用のところ卓話有り難うございます。相鉄の驚異的な発展におどろく程です。すばらしいお話を楽しみにしております。

関口 友宏／相鉄の皆さん、本日は宜しく願いします。

安藤 公一／相模鉄道の皆様、ようこそ。本日の卓話宜しく願い致します。

佐藤 利明／①相鉄の皆様、本日はご苦勞様です。卓話楽しみにしています。②兵藤先生ようこそ。

太田 勝典／①相鉄の皆様、ご苦勞様です。卓話たのしみにしております。②兵藤さん、ようこそ。

齋藤 善孝／相模鉄道の古瀬様、相鉄ホールディングの長島様、ようこそいらっしゃいました。本日の卓話楽しみです。相鉄の株価が千円台に値上がりする事が待ち遠しいです。

後藤 英則／古瀬様、長島様、ようこそいらっしゃいました。

五十嵐 正／①相模鉄道の皆様、本日の卓話大変楽しみにしております。よろしく願いします。②兵藤さん、ようこそ。早く戻ってきて下さい。

鈴木 茂之／皆さん、こんにちは。相模鉄道の古瀬様、長島様、お忙しい中お越し頂き有難うございます。本日の卓話よろしく願い致します。

漆原恵利子／欠席が続いてしまいました。皆様お久しぶりです。本日の卓話、二俣川駅再開発相鉄線直通乗り入れ、関心のある内容です。よろしく願いいたします。

杉山 雅彦／本日の卓話、楽しみにしております。古瀬常務、長島様、宜しく願い致します。

佐藤 真吾／①相模鉄道の皆様、ようこそお越し下さいました。卓話よろしく願いしま

す。②兵藤先生、お待ちしております。

■体験例会にお越し頂いた兵藤先生(左)
卓話紹介して頂いた倉本会員(右)



■卓話

「相鉄・JR 直通線、相鉄・東急直通線の 概要」

古瀬 円様

相模鉄道の古瀬と申します。どうぞよろしく願いします。

本日は相鉄グループが取り組んでいる事柄についてご紹介させて頂きたいと思



います。お蔭様で相模鉄道は来年 2017 年で、創業 100 周年を迎えます。これは沿線のみなさまのご支援のおかげで、ここまでたどり着けたのと思っております。本当にありがとうございます。

鉄道事業の非常に厳しい中、鉄道事業だけでなくいろいろな事業の取り組んでおりますが、少子高齢化が進展している事、そして先ほど会長さんの話された昨今の異常気象にさらされる状況の中で、グループ各社今後 100 年皆様と一緒に成長するにはどうしたらいいのか、ということを考えながら、各事業をご紹介させて頂きたいと思

います。初めまして、相模鉄道の山西と申します。私の方からは、鉄道事業の直通線事業の概要についてご説明させて頂

きます。先ず今回事業を進めております 2 つの直通線ですが、1 つ





目が JR 直通線で、相鉄本線西谷駅から羽沢地区までを結ぶ直通線、2つ目が相鉄東急直通線とする、羽沢から新横浜を経由して日吉までを繋ぐ直通線の2つを整備しているところでございます。

1つ目の西谷から羽沢までの連絡線が出来ますと、相鉄線と JR 線が相互に乗り入れることが出来まして、海老名や湘南台から直接乗り換えなしで JR 線の渋谷や新宿方面に乗り入れることが可能となります。

また、2つ目の東急東横線と繋がりますと、同じく東横線の渋谷駅や目黒方面まで直接乗り入れることが出来ます。

こちらの事業の背景についてご説明いたします。当社を取り巻く環境といたしまして、平成7年頃輸送人員がピークでしたが、この処1割程度減り続けております。この要因としましては社会の少子高齢化などがありますが、当社が他社と相互直通をやっておりませんので、神奈川県内でクローズしていることも要因として考えられました。

そこで、このような厳しい環境の中で、さ

相模鉄道を取り巻く状況 I



当社の輸送人員は、平成7年度をピークに、平成16年度までの9年間、減少し続けていた。一時回復したが、現在も減少傾向は変わらない。



- ・社会構造の変化（少子高齢化や景気低迷による雇用調整など）
- ・当社と他社が有する鉄道ネットワークの違い（当社は、都心部に相互直通を行っていない「クローズされた路線」）

らに速達性と利便性を高めるにはどうしたらいいのか、神奈川県内のクローズした環境から脱却するにはどうしたらいいのか模索しまして、今回東京都心へ直接乗り入れる事業を進めていこうという事になりました。

続きまして事業計画の概要です。1つ目の JR 直通線は、2.7 kmの延長がございます。今回上下分離方式と致しまして、整備主体と営業主体が分かれています。トンネルや駅の整備は鉄道運輸機構が行いまして、当社の方は運輸機構さんが作った施設を借りる形で、その上に電車を走らせたりする営業主体という立場で携わっております。運行区間や頻度は、朝ラッシュ時間は当社線から一時間当たり4本程度、日中は2～3本程度直接運行しようと計画しております。

同じく東急直通線ですが、羽沢から新横浜を通して日吉までの連絡線は約10 km。同じく整備主体は機構さんですが、営業主体は当社と東急さんが行うことで進めております。渋谷目黒方面へ運行しますが、頻度は東急直通が出来ますと、朝ラッシュ時間帯で1時間に10～14本程度運行計画です。

路線の開業ですが、西谷駅から分岐しまして、分かれてすぐ地下に潜りまして、なるべく近い距離で新しく出来る羽沢駅へトンネルが整備されております。今は横浜羽沢という貨物駅ですが、その貨物駅のすぐ隣に新しい旅客駅を作りまして、そこから直接貨物線に乗り入れる連絡線での運行計画になっております。さらに羽沢駅から JR 線と別れる形で東急直通線が出来まして、JR 線と別れて直ぐに地下になりまして、東海道新幹線とほぼ同じですが、ずっと地下で環状2号線の下を通り新横浜駅に向かう計画で、新横浜駅には地下4階部分に入って行き、さらに東急線の日吉まで繋がっていく計画になっております。

営業の区分ですが、相鉄は羽沢を通して新横浜迄が営業となりまして、新横浜からは東急電鉄さんが営業主体という役割分担となります。

事業の効果ですが、現状ですと、二俣川駅から新宿駅までは約1時間かかっておりますが、今回の直通線が出来ますと約44分位で行けます。15分ほど短縮が見込まれます。同じ

く東急の方も、二俣川から渋谷まで、今は60分ほどですが開業後は41分ということで、こちらでも20分短縮効果を見込んでいます。

今はお客様の数に対して、横浜駅は大分手狭な状況で、乗り換えも不便をお掛けしておりますが、直通線が開業しますと、その乗り換えが解消されますので、お客様の利便性が向上することを期待しております。

さらに東急直通まで開業いたしますと、羽沢から新横浜を経由しますので、東海道新幹線のアクセスも向上し、出張や旅行等の利便性が高まると思います。

現在の工事の状況についてご説明します。羽沢駅の脇に新しい駅を作っております、すでに西谷から羽沢までのトンネルは出来上がっております。その上の駅舎の工事を行っております。羽沢駅の地下部分は箱型のコンクリート部分ではプラットホーム出来上がっている状況でして、あとは軌道や電気設備の工事を行っていく予定です。

最近の工事状況（羽沢駅付近の概要）



ホーム軌道階の様子



西谷トンネルの
羽沢方坑口

西谷駅付近の状況は、相鉄本線の直下にトンネルを作り、実際の電車を走らせながら、トンネル内の構造物は出来上がりつつあります。完成しますと、相鉄本線が真ん中を通り横浜へ向かい、外側の直通線は地下に潜り羽沢方面に向かうことになります。

西谷駅の二俣川寄りですが、引き上げ線の整備が進められており、こちらは最近相互直通になりますとダイヤが広範囲に乱れてしまうニュースが聞かれていると思いますので、そういったダイヤ乱れの影響を最小限に食い止める目的で整備しております。

以上でご説明は終わりですが、一日も早い直通線の開業し、沿線地域の皆様のご期待に

添えるよう、安全に配慮しながら工事を進めておりますので引き続きご支援ご協力の程よろしく申し上げます。

後半は相鉄ホールディングの長島から、相鉄グループの今後の展開についてお話ししたいと思います。

まず、私共は何を考えているのかお話しいたします。



実は相鉄線は平成7年をピークに輸送人員が減っておりまして、先ほど触れられた少子高齢化の問題も、相鉄沿線に影響が出ておりして、これから私共がやらなくてはいけないことは、沿線の皆様が将来に亘って住み続けて頂けること、また、沿線外の皆様に、この沿線に住み替えて頂くといった事を目標にいろいろなプロジェクトを進めている処でございます。

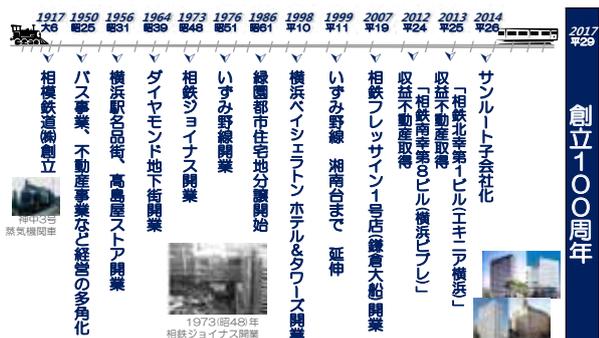
たとえばハードの取組として、この二俣川の再開発ですとか、後半ご紹介しますソフト面の取組といったところで、沿線の質を高めていくことを進めているところでございます。さらにこれからは、沿線外の皆様に知って頂かなければいけないという大命題。大きくこの3つの取組を行っております。

本題の前に、相鉄グループの概要をご紹介します。まず当社は来年で創業100周年を迎えます。相鉄とは、もともと相模鉄道という名称で分社化致しまして、現状では「相鉄ホールディングス」という名称に変わっております。グループとして、今年の2月の段階で31社、事業規模は大体売上で2,523億円という昨年度の決算です。

相鉄グループの発展の歴史として横浜の西口の開発、名品街、ダイヤモンド地下街、ジョイナスの開業ということと合わせまして、沿線の開発、いずみ野線が1976年に開業し、今年の4月8日に40周年になります。

私共の2大プロジェクト、西口と新線の開発でここにピークがまいります。また、平成10年に横浜ベイシユラトタワーズが開業、さらにホテル事業を手掛けるようになり、と

沿革



くに宿泊とかビジネスホテル事業に踏み出したのは平成19年。この事業を伸ばしております。平成26年、サルルートというホテルチェーンの株式を買収し、100%子会社にした状況でございます。

相鉄グループとしてはどんな事業があるかと申しますと、大きく4つの事業がございます。一つは運輸ということで、相模鉄道・相鉄バス、流通業としては、相鉄ローゼン、駅の売店などの相鉄リテール、それと不動産業として、相鉄不動産は住宅の分譲です。相鉄不動産販売は仲介系で、ビル部門、ビルの賃貸で大家さんをやっているのが相鉄アーバンクリエイツ、そして運営するのが、相鉄ビルマネジメントという内容でございます。

実はセグメントを独立させまして、ホテルセグメントとして、相鉄ホテル、ベイシエラトンを運営しております。そしてプレッサのブランドで展開しております相鉄イン、相鉄サルルート、その他沿線のいろんなサービスを受け持つ会社、ビルのメンテナンス管理をやっている相鉄企業、保育園の相鉄アメニティライフ、保険サービス、浄水器の会社、経理のビジネスサービス等々で構成されております。

これから、私達のグループがどんな質を高めていくかという点でご紹介させて頂きたいと思っております。

都市化競争が高くなっていく中で、魅力ある商業施設を提供しようと、西口ですが、ご存知のように相鉄ジョイナスとダイヤモンドを全面的にリニューアルをかけております。これは昨年12月にリニューアルオープンをしました。テナントの75%、かなり大きく入

れ替えて活性化をはかったというところなんです。

館内を一体の施設として運営していこうと、西口ではやっております。名前も、ダイヤモンドの名前は今回無くなり、新しく相鉄ジョイナスとして一本化していきます。

それから、ジョイナスの活性化を含めて沿線で大きく6つのプロジェクトを進めております。これは何を狙っているかと申しますと、相互直通運転をした時に、きちんとお客様を迎えられるように、駅前周辺をきちっと再整備をして行こうというような事業になっております。

二俣川の再開発事業もございまして、いずみ野線沿線で、南万騎が原、いずみ野で工事を進めております。今後弥生台の駅前も工事を考えております。

そして「ゆめが丘」今は畑の中の駅ですけど、今24ヘクタールの規模で、大規模な区画整理を行っております。12月に着工しまして2020年迄に仕上げたいこうということになっており、こちらについても大規模な商業施設の整備等進めていく予定です。

海老名駅、こちらは区画整備事業になっており、相鉄グループとゼネコンの鹿島建設さんが組合から業務代行を受けて基盤整備を進めて行き、直近についても「ららぽーと」を地元の皆さんと誘致したところです。そして私達の物件としては、昨年マンションを販売いたしました。これからもマンション400軒位を作りたいこうと計画しております。

又、星川と天王町との間に高架を作っておりますので、高架の有効活用についても今後進めて参ります。横浜駅に付きまして、鶴屋町地区の一体でも再開発の計画を練っております。

二俣川におきましては29階建てのマンションを計画しております。延床98,360㎡とかなり大きな事業です。マンションについては450戸、実際に販売される予定は現時点で400戸程度を予定しております。それと駅舎と一体の商業施設と横浜市の公益施設等を入れて行こうというものです。2018年3月に竣工予定でございます。

ホテル業の説明ですが、横浜ベイシエラト

ン・相鉄フレッサイン・サンルートの3つのブランドを運営しておりますが、部屋数を全部たすと13,231室になっております。

国内でどれだけのポジションになっているかと申しますと、一番多いのはアパさんで、次に東横イン、私共はプリンスホテルに続いて5番目の位置にあります。ここ10年位でこの事業が伸びて参りました。4月1日、大阪の難波にもオープン致します。

これまでは、ハードの部分でご説明しましたが、ソフトの面で街を良く出来ないかという取組も実は始めています。

横浜市は少子高齢化においてかなり高齢化率が高く、横浜市全体の65歳以上の高齢化率は平成21年の国勢調査では21%で、旭区は24%、さらに隣の駅、南万騎が原では、実は31%でした。ダントツで高くなっていて、旭区は横浜市でトップから2番目の高齢化率です。そこで、相鉄いずみ野線環境未来都市というタイトルで横浜市さんと相鉄ホールディングが協定を結びました。地域資源の活用が出来ないか、子育て支援に何か出来ないか、それと環境が重要な要素になっていますので、こういった環境エネルギーに関する事項。そして地域のコミュニティーですが段々地域が古くなって高齢化して来ますと活力が無くなってきてしまいますので、どうしたら活力が維持できるか、といった事に取組んで研究しております。

その中には、民間企業ですと、東京ガス、日揮、NTT東日本、NTTファシリティーズ、日立製作所、横浜国立大学、フェリス女学院等こういった皆さんのご協力を得てながら、いろんな取組をしております。

南万騎が原につきましてはソフト、ハード両面の取組になっておりまして、こちらについて概要を説明いたします。

こちらは元々商業施設とスポーツ施設があった駅前でした。そして駅前の活性化する為にリニューアルしようと考えたのですが、先ず地域の皆さんに「何かお困りのことはないですか」「どういう街がいいですか」といったアンケートを取りました。帰ってきた内容にちょっと驚いたのですけれど、アンケート

の対象は駅から徒歩15分圏内ですが、やっぱり困っていることは「駅から遠い」というものでした。もともと駅から歩ける住宅として売った所が、実は坂がきつくて駅まで歩くのが辛い、といった内容が結構ありました。

要は、駅前に住み替え出来ないか、と私達は理解しました。年をとって地域に住み続けたいけれどいい施設がない。子育て世帯の方からは、もう少し子育てにやさしい街にならないのか、こんな要望がありましたので、思い切って、そういう施設を全部駅周辺にまとめようというのが、南万騎が原の駅前の開発になっています。駅前に集合住宅ということで、マンションとは今まで分譲マンションがほとんどでしたが、分譲マンションを入れています。今回は賃貸マンションを整備します。高齢の方が住替えたり、若いファミリー層が住むようにです。

また、高齢者向けのサービス付の住宅が駅前に出来ます。クリニックですとか、保育関係、これは普通の保育園と病気になった時に預ける病児保育、それと学童の保育、こんな施設を駅前に整備しようと計画しております。

では、駅前に戸建の方が住み替えてしまうと、空家問題がとりあげられております。空家になってしまって、草がボウボウになって不用心だ、犯罪の温床になったり、火事になったらどうするのか、こんな問題も実は出てきます。

それで、私達が考えているのは、住み替え循環モデルというものです。例えば今戸建住宅の立っている中で、駅前に住み替えるとそこは空家になってしまいます。駅前に折角受け皿が出来ても、空家のままでは沿線の人口は増えないわけです。この空家に、若い世帯を誘致してはどうだろうか、そうして住み替えを進めていけないか。今の建物は耐震性も良くなっているので、こういったストックを活用して、グルグル回すような仕組みも考えております。

ただ、家を売るというのは、皆さん抵抗ありますので、私たちが一度オーナーの皆さんから借受をして、リフォームが必要なら、家賃の中から支払うこんな取組を進めていく取

り組みを、万騎が原周辺で行っております。

次に出てくるのはよりソフトの話になります。

住民のみなさんの要望に街にカフェが欲しいといった要望があり、だったら場所提供するので、やったらどうですか、といったら緑園の駅前にやっている「街カフェ」というイベントです。地元の主婦を中心に行っております。中には子ども達の発表の場として、駅前を活用したり、こんな活動をしております。

また、いずみ野マルシェと言いまして、都市型の農業が盛んなエリアです。近くに酪農や畜産をやっている方もいらっちゃって、泉区産の野菜を売ったり、野菜を使って料理を作ったり、そんな地域の資源を知ってもらおうという試みです。地元農家や店主、学生をまじえて行っております。こういった活動はいずみ野線全線で進めております。

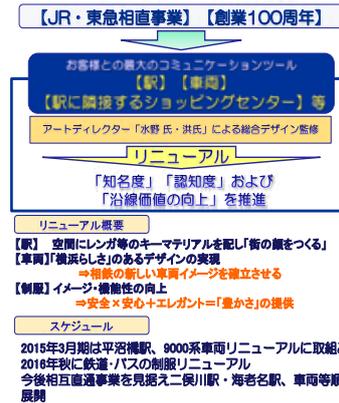
改めて相鉄線の魅力はてなんだろうと考えると、これから直通することで都心にも近くなります。駅前の商業施設もリニューアルしました。それともう一つは、身近に自然がまだ残っております。このような資源を上手く利用して、沿線の魅力の向上をはかり、暮らしの豊かさを実現していこうと考えております。

しかし、この沿線自分達でいいと思っても、よその皆さんに知って頂けないと、全然外から来てくれません。

そこで考えたのが、沿線のブランドアップ戦略プロジェクトという取組でございます。先ほど申しましたように、平成30年度にはJR線が繋がります。31年には東急に繋がります、この機会が相鉄グループを宣伝する絶好の機会ととらえております。そこで始めたのがこのプロジェクトです。

これから都心に電車が乗り入れますと、電車というのは非常に広告塔的な存在でして、沿線をPRしてもらおうため電車も一工夫しようということで、車輻とか駅の効果的な見せ方。駅に隣接するショッピングセンター。これを徹底的に見直すのがこのポイントです。これを徹底的にやって、沿線の知名度、認知度を向上して行こうということです。

相鉄線沿線ブランド戦略～デザインブランドアッププロジェクト



9000系リニューアル車両



平沼橋駅（夜間）

これを自前でやると、どうしても既成概念がついてしまって、あまり思い切ったことは出来ませんので、外部に人材に依頼しました。

アートディレクターを水野さんと洪さんの2人に依頼しました。水野さんは熊本のゆるキャラ「くまもん」を手掛けた方です。何をポイントにするか考え、先ずブランド価値も高い横浜らしさをポイントに据えました。

横浜を想起するカラー「ヨコハマネービーブルー」にしました。駅についても陳腐化しないものは何か、流行を追いますとその流行がすぎると古臭くなる。醸成するもの、鉄道をイメージするもの、落ち着いたシックなグレーを使ってやって行こうとなりました。

又、今年の秋には、制服もリニューアルいたします。

平沼橋駅の改築ではグレーの色にしまして、落ち着いた雰囲気、文字が浮き上がって見やすくする意匠面でも工夫しました。ベンチ等も今回かなり幅を広くとり、照明やボックスシートなどお客様目線にたって使いやすものにいたしました。

ということで、私達グループをあげて沿線の活性化、沿線を知って頂く取組を行っております。これからどれくらい効果があるか検証してまいります。

本日はありがとうございました。

(文責：五十嵐)

■次週の卓話

3/30 (水) 休会

4/6 (水) 母子の健康フォーラム

後藤 英則 会員

週報担当 吉原 則光

2015～2016 年度 第十四回 理事会議事録

<p>日時 平成 28 年 3 月 2 日 (水) 18 時 30 分より</p> <p>場所 クラブ事務所</p>	<p>出席者 新川尚 青木邦弘 関口友宏 五十嵐正 田川富男 安藤公一 佐藤真吾 太田勝典 二宮麻理子 市川慎二</p> <p>欠席者 増田嘉一郎 福村正</p>																																				
<p>【報告事項】</p> <table border="0"> <tr> <td>地区</td> <td>3 月 5 日 (土) 13 : 00～</td> <td>ローターアクト交流会</td> <td>岩崎学園横浜西口 2 号館</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3 月 17 日 (木) 13 : 00～</td> <td>会長エレクトセミナー①</td> <td>ソシア 21</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3 月 18 日 (金) 13 : 00～</td> <td>会長エレクトセミナー②</td> <td>ソシア 21</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4 月 3 日 (日) 12 : 30～</td> <td>2016 - 2017 年度地区研修・協議会</td> <td>洗足学園</td> </tr> <tr> <td>クラブ</td> <td>3 月 2 日 (水) 18 : 30～</td> <td>第十四回理事会</td> <td>クラブ事務所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3 月 16 日 (水) 例会時</td> <td>第二回体験例会</td> <td>例会場</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4 月 6 日 (水) 18 : 30～</td> <td>第十五回理事会</td> <td>クラブ事務所</td> </tr> <tr> <td>公園施設設置許可の更新について</td> <td colspan="3">更新を済ませた。</td> </tr> <tr> <td>旭ジャズまつり広告掲載について</td> <td colspan="3">昨年同様 2 万円を支出する</td> </tr> </table>		地区	3 月 5 日 (土) 13 : 00～	ローターアクト交流会	岩崎学園横浜西口 2 号館		3 月 17 日 (木) 13 : 00～	会長エレクトセミナー①	ソシア 21		3 月 18 日 (金) 13 : 00～	会長エレクトセミナー②	ソシア 21		4 月 3 日 (日) 12 : 30～	2016 - 2017 年度地区研修・協議会	洗足学園	クラブ	3 月 2 日 (水) 18 : 30～	第十四回理事会	クラブ事務所		3 月 16 日 (水) 例会時	第二回体験例会	例会場		4 月 6 日 (水) 18 : 30～	第十五回理事会	クラブ事務所	公園施設設置許可の更新について	更新を済ませた。			旭ジャズまつり広告掲載について	昨年同様 2 万円を支出する		
地区	3 月 5 日 (土) 13 : 00～	ローターアクト交流会	岩崎学園横浜西口 2 号館																																		
	3 月 17 日 (木) 13 : 00～	会長エレクトセミナー①	ソシア 21																																		
	3 月 18 日 (金) 13 : 00～	会長エレクトセミナー②	ソシア 21																																		
	4 月 3 日 (日) 12 : 30～	2016 - 2017 年度地区研修・協議会	洗足学園																																		
クラブ	3 月 2 日 (水) 18 : 30～	第十四回理事会	クラブ事務所																																		
	3 月 16 日 (水) 例会時	第二回体験例会	例会場																																		
	4 月 6 日 (水) 18 : 30～	第十五回理事会	クラブ事務所																																		
公園施設設置許可の更新について	更新を済ませた。																																				
旭ジャズまつり広告掲載について	昨年同様 2 万円を支出する																																				
<p>【審議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 インターアクト廃止について インターアクトクラブ存続についての協議経過説明後に、一週間意見を募ったが意見があがらなかった為、廃止に向けて手続きを進める。 承認 2 福村会員の出席規定免除について 2 月 10 日付で本人より申請がありました。 腰椎椎間板ヘルニアの療養の為、2 か月間の休会を希望しており、当クラブ定款第 9 条第 3 節 a 項に該当となり、2 月 10 日より適用とする。 承認 3 第十六回理事会日時について 5 月 11 日 (水) 新横浜 RC25 周年記念夜間例会に会長・幹事出席の為、例会終了後 13 : 30 より例会場にて、第十六回理事会を開催する。 承認 4 例会場変更について コストパフォーマンス等を踏まえた原案を理事に配布し審議を行った結果、例会場変更候補である関口会員のカナエル会議室にて一度、移動例会を開催してみたらどうかといった案があがり、候補日として 4 月 6 日又は 4 月 13 日に移動例会開催に向け、検討していく。 承認 5 その他 <ol style="list-style-type: none"> ① 2015 - 16 地区補助金対象プロジェクト申請書について 災害対策委員長の五十嵐会員、新川会長よりプロジェクトについての経過説明がされた。(別紙参照) 今後、災害対策委員会にて内容をにつめていきたい。 承認 ② 岩沼 RC との親睦旅行について 親睦委員長の北澤会員より親睦旅行についての諮問があり、今期は 1 月チャリコン、5 月地元高校生被災地訪問といった交流機会があり、また、10 月岩沼 RC 創立 50 周年記念、12 月子ども達へのクリスマスプレゼント配布といった訪問予定している為、岩沼 RC との親睦旅行は見送ることとした。尚、今後も岩沼 RC との親睦旅行は定例化にはしない。 承認 																																					